



MESSAGE NOTES

礼拝のために準備する – 寛大な心を持つこと

第二コリント人への手紙 9:7

アジェリ・サビ

第二コリント人への手紙 9:7 一人ひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は、喜んで与える人を愛してくださるのです。

聖書は、私たちが奉仕活動と御国の前進のために働き、自分の持っているものを捧げるよう奨励しています。

1. 父なる神様の性質を現して捧げる

ヨハネの福音書 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ローマ人への手紙 8:32 私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。

神の子であるか否かにかかわらず、神様は惜しみなく与えてくださいます。見返りを期待されることはありません。キリストは教会のためではなく、全世界のために死なれたのです。救いによって神の御霊を受けた私たちは、同じ御霊によって力を与えられ、惜しみなく与えることができます。

2. 必要を満たすために捧げる

出エジプト記 35:4-5 モーセはイスラエルの全会衆に告げた。「これは主が命じられたことである。あなたがたの中から主への奉納物を受け取りなさい。すべて、進んで献げる心のある人に、主への奉納物を持って来させなさい。すなわち、金、銀、青銅、...

出エジプト記 36:6-7 それでモーセは命じて、宿営中に告げ知らせた。「男も女も、聖所の奉納物のためにこれ以上の仕事を行わないように。」こうして民は持って来るのをやめた。手持ちの材料は、すべての仕事をするのに十分であり、あり余るほどであった。

私たちは責任ある子供として与え、必要を満たすために捧げるのです。必要を見れば目を背けず、全ての必要が満たされるまで与え続けます。

3. 計画的に捧げる

毎月、あるいは毎週にどれくらい捧げることができるか計画しましょう。

その約束を守れるよう、神様を信頼しましょう。

計画は柔軟に立てましょう。